



### 市民とともに

#### 発展する土曜市

『南園市土曜市』はさる四十四年、市政十周年を記念し発足してはや十年を迎えようとしています。昨年六月、後免町から現在の大埔に移転して新たにオープン。新しい場所は都市計画で、『南園中央公園』とされている所なので、土曜市組合は土曜日以外の日は子供たちが安心して遊べるよう周囲の清掃に気を配っています。今年には十周年です。十月には毎年発足を記念しているいろいろな行事が行われていますが、この四月より新しい企画として、午前十一時から三十分間、米場のお客様と一体となった『セリ売り』が行われています。



これは、組合員のなかで奉仕活動に参加する者が持ち寄った商品に、お客様が買いたい値段をつけセリ落すというものです。第一回目のおークションを四月十五日に実施しましたが、予想以上の人の波と売り上げ、そして心のこもった寄付金にびっくりしました。こ

これらの寄付金は十月まで貯金し、交通安全協会や老人ホーム、身障者施設への寄付、慰問、お客様への特別サービスにと計画しています。この催しは毎週行われますので、市民のみならずみなさまが家庭の用品などがありまして、交換し合ったり、オークションに参加して欲しい。人と人との心の通い合う、楽しいショッピングのできる土曜市にするのが目的です。市民のみならずみなさまに発展する土曜市に守り育ててく

さい。土曜市組合

広報なんこくでは、あなたの投稿をお待ちしています。市政に対する建設的なご意見、女性のほのぼのとした随想「つくし」欄、小学・中学・高



### 善意の箱

昨年の歳末、十二月二十四日にはクリスマスチャリティオークションが行われ、小笠原市長さんのセリ売りの声から始められ、五万円の売り上げ金を土佐希望の家と土佐清風園の両福祉施設へ贈りました。海の幸、野の幸、山の幸といった土曜市、南園市になくてはならない土曜市、市民とともに発展する土曜市にと組合員一同努力しています。土曜市へのみなさんのご意見、アドバイスをよろしくお願ひします。

土曜市組合

校生のみなさんの詩や作文、マンガなどを寄せてください。また、地域の問題や楽しい行事などもお知らせください。広報委員会

### おわびします

広報なんこく四月一日号、九ページ、南園歌壇欄で、北村まさえさんの短歌「風化せし根つ子の如く病む母のいのちのかす尿の音きく」が、いのちのかすもとなっていました。おわびして訂正します。

### 南国俳壇

舞いおわる緞帳裏の暗い雪  
まさまさと女の家系猫柳  
菜の花の中にわが墓建ててみる  
紙漉かぬときの眼鏡は神棚に  
お瀬路も苗代寒に前屈み  
春昼の犬身を伸ばし寝てばかり  
あけぼのの鴨低くとぶ椿林  
日の縁に投網手入や水温む  
泥吐かす岬にまじる鳥貝

和田幸郎 (岩村句会)  
大島新草 ( )  
池さち ( )  
高橋い登 (梵鐘会)  
吉川 節 ( )  
竹内紀子 ( )  
溝淵さちえ (波俳句会)  
中村竜子 ( )  
竹村佐知 ( )

### 南国歌壇

触れ合いつ登りて降るまきはしに  
黙せし儘の君温たかき  
直線の炎の如く夕焼けし  
ジェット機の跡みんなみにお  
ジエツト機 岡豊町八幡 池添利江  
漸し妻思慕する翁のほほこばみ  
語ひつきず春浅き部屋  
三田 小笠原綾子

脚病みて年経し旧友を訪ね行く  
山家の里は黄金の花あかり  
(れんぎょうの花)  
立田 北村ちづ  
やまかひのゆふべおくらきたにみづの おとのかたへにさくやまざくら  
大埔 中田露秀



### 大町屋敷とお花の祠

立田上陸内の入口近くに、小さいお宮が古木に囲まれて祭られている。  
今から五百余年の昔、この部落に一人の立派なお武家さまが京の都から落ちのびてきた。この武士が立田大町家の先祖大町弾正で、京都から祇園さまを奉持してきてこの地に祭つたので、部落の氏神八坂神社として今日におよんでいる。

弾正はなかなかの豪傑で、世が世であれば一國一城の主にもなれるほどの大人物であったが、こと志とちがってこの地に土着

してしまつた。しかし、時が来れば一旗あげん覚悟は捨てきれず、そのチャンスをつうかがつていたが五年十年とたつうちに、ついに一領員足の武士となり、長宗我部氏に仕える身となつた。そしてふだんは田畑を耕し、一朝事ある時には主君の馬前に馳せ参じて戦つていた。  
ある時、弾正は生野郷の奥からお花という娘を雇ひ入れた。これはよく働くが、少々我の強いのが難であつた。  
ある日お花は、さらし木綿を乾燥するため、牛小屋の近くに広げ

ておいた。その日は大変忙しかつたので始末するのをすっかり忘れていた。ある日、主人の弾正から、「お前は始末が悪い。さらし木綿が牛に踏みたくられたぞ。」と、こつぱど叱られた。「私が悪いのではない。牛が悪い。」と、それ一点張りであつたので、怒つた弾正は一刀のもとに切り捨ててしまつた。  
この悲報を知つてかけつけてきたお花の母親は、変り果てた娘のなきがらに取りすがつて泣き悲しみ、怒り狂つたそのあけく、形相すさまじく、「娘よ、この恨みは決して忘れるな。そして、大町家のかまどの火を絶やせ」と、わめきたてた。

事件があつてからは、大町家は奇怪な凶事が相次いでおこつた。これはつきり、お花の怨霊のい



「ご家庭で話し合つて答えてください。答えは今日号の広報に出ています。」  
●もんだい、空港周辺整備事業は十年間で年次計画を立てて行うもので、事業総額は〇〇〇億円を計画しています。  
●しめきり、五月十五日(月)おくり先、〒783 南園市大埔甲2301 南園市役所内 広報委員会 親子クイズ係  
●答えのハガキには必ずお歳・職業・住所を書いてください。  
●しようひん・特賞千円〇三人、残念賞(記念品)〇五人

第七十九回正解者発表  
●こたえ、(月)日でした。  
●特賞、千円〇三人  
久米浩二くん(久礼田)  
浜田福代さん(園分)  
三谷 寿さん(植野)  
●残念賞、記念品〇五人  
吉村須真子(中の川) 山崎きよ(篠原) 前田八重子(福生) 高橋佐知(植野) 竹村和枝(福生) おめでどうございました。これからもどうぞご応募ください。